

課題支援資料 CTD 計測の水温と塩分濃度の深度分布図を作成しよう。

1. サンプルデータ

次のフォルダを D:/TEMP の作業領域へダウンロードする。

教材ディスク/env/asanuma/RBRsample

このフォルダには、次のサンプルデータが含まれる。

20060809Tsushima.xlsx

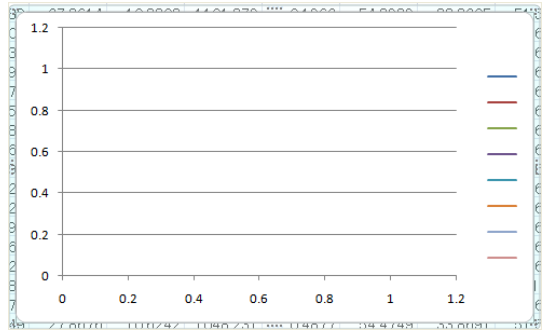
20080210Panay.xlsx

2. エクセル操作

① グラフの挿入(水温深度分布)

[挿入]→[散布図]→ [散布図(直線)] を選択する。

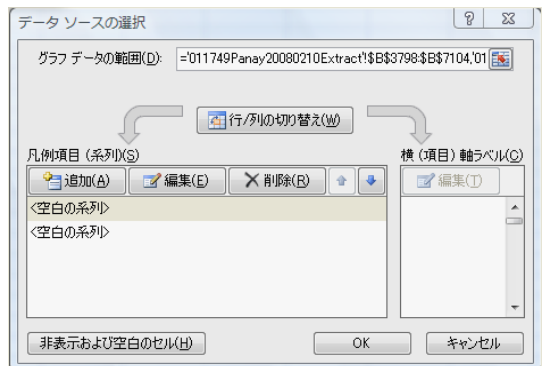
空白のデータが表示される。



[デザイン]→ [データの選択] をクリックする。

【凡例項目(系列)(S)】に〈空白の系列〉の項目、あるいは〈Temp〉などの項目が列記されるので、[×削除]をクリックし、全てを削除する。

X 軸と Y 軸を新たに定義するため。



	C	D	E	F	G	H	I
Temp	Pres	PAR	Depth	CorrCond	Salinity	Spec	
5	27.8585	10.3273	1177.333	0.1932	54.435	33.8478	51

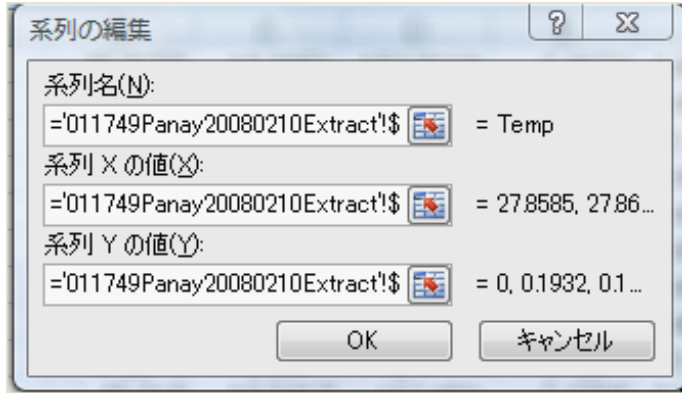
[追加]をクリックすると、【系列の編集】のウィンドウが開く。

[系列名]の右端の[系列の編集]アイコンをクリックし、「Temp」の表示される〈C33〉をクリックする。



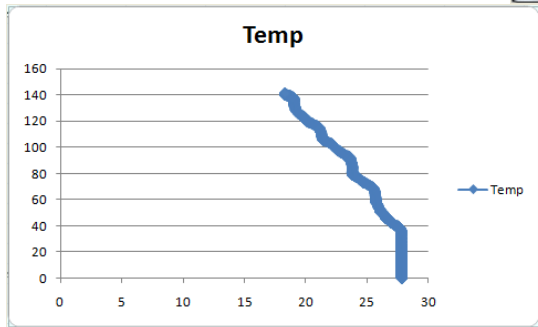
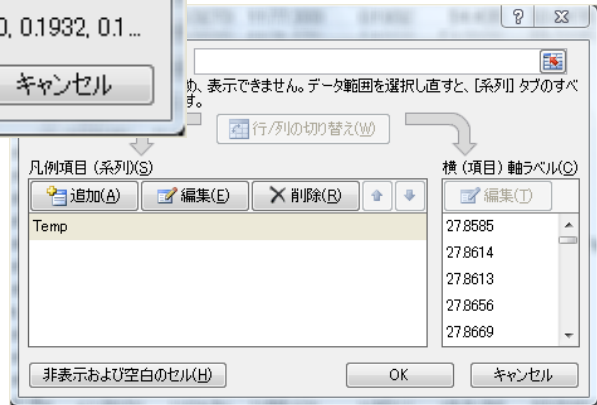
同様に、[系列 X の値(X)]の右端の[系列の編集]

をクリックする。【系列の編集】ウィンドウが表示された段階で、水温(Temp)の〈C34〉から C カラムの最後のラインまでを選択する。X 軸(横軸)に水温を配置する。



また、[系列 Y の値(Y)]に深度 (Depth)の〈F34〉から Fカラムの最後のラインまでを選択する。

[OK]をクリックすると、〈Temp〉の項目が追加される。

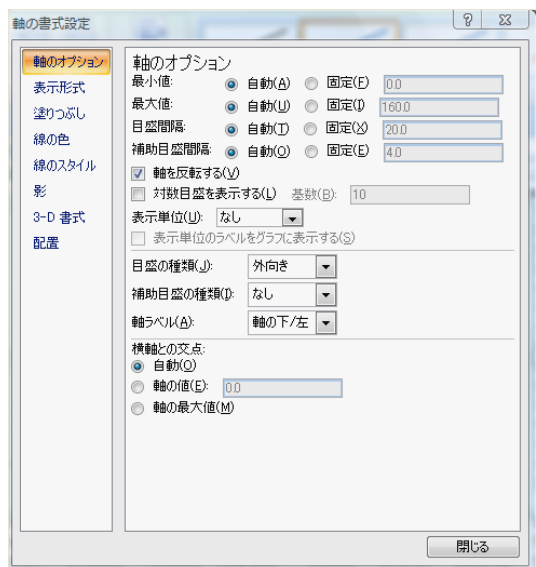


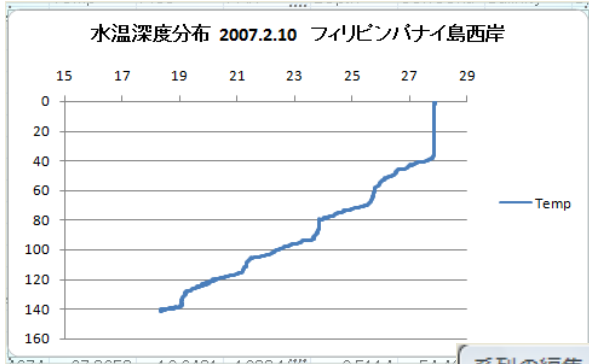
グラフが表示される。

X 軸には水温が表示され、Y 軸には深度が表示される。深度に注目すると、Y 軸の方向が深い深度に相当するので、軸を逆転する。

[レイアウト]タブから、[軸]アイコンをクリックし、[主縦軸]をクリックし、[その他の主縦軸オプション]をクリックする。

[軸を反転する]を ON にする。





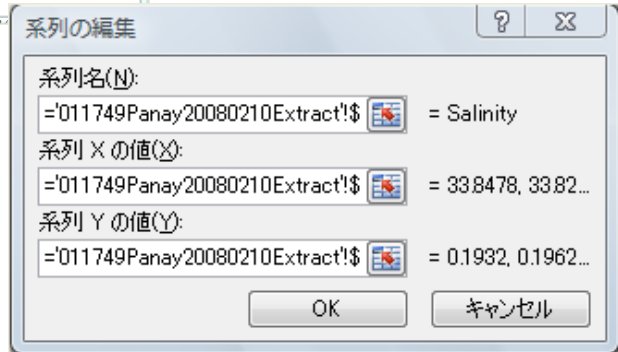
同様に、[レイアウト]タブから、[軸]アイコンをクリックし、[主横軸]をクリックし、[その他の主横軸オプション]をクリックする。

[最小値]を[固定]とし、「15.0」を入力する。

④ グラフ項目の追加(塩分濃度深度分布)

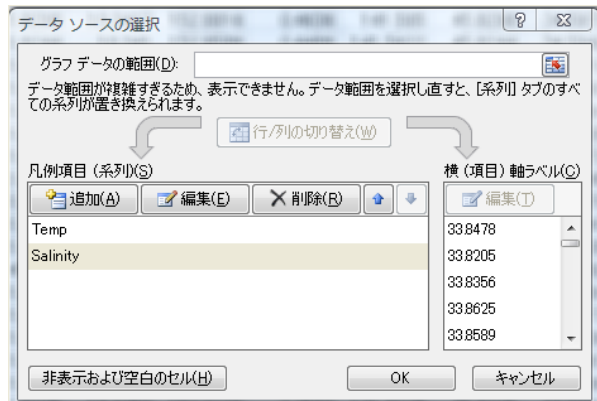
[デザイン]→ [データの選択] をクリックする。

【凡例項目(系列)(S)】の[追加]をクリックすると、【系列の編集】のウィンドウが開く。

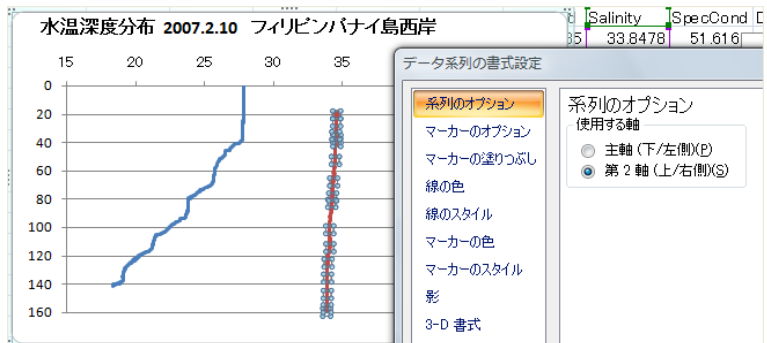


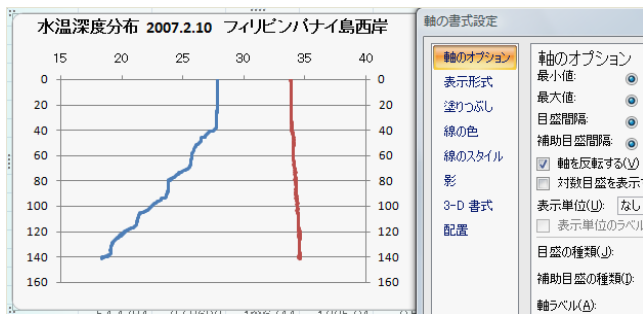
水温「Temp」と同様に、塩分濃度「Salinity」の系列名、系列 X の値、系列 Y の値を設定する。

水温を X 主軸(上側)に表示し、塩分濃度を X 第 2 軸(下側)に表示するため、塩分濃度のグループを右クリックし、[データ系列の書式設定]を選択する。【系列のオプション】から[第 2 軸(上/右側)]を選択する。



[レイアウト]タブから、[軸]アイコンをクリックし、[第 2 縦軸]から[その他の第 2 縦軸オプション]をクリックし、【軸の書式設定】において、[軸を反転する]を ON とする。





第2横軸(下)の範囲を 33.6~35.0PSU とする。

